

2021年度化学工学会 インターンシップ報告会

研修先：東亜合成株式会社

静岡大学大学院

総合科学技術研究科 工学専攻

修士1年 橋本裕太

インターンシップ概要

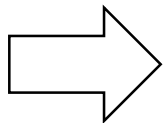
研修先 企業	東亜合成株式会社	部署	R&D総合センター 生産技術研究所
研修場所	名古屋市港区昭和町8 R&D総合センター		
研修期間	2021年8月23日（月）～ 9月3日（金） 10日間		
研修 テーマ	ポリマーの混合・分散・乾燥特性の研究 小試並びに中試での実習		

U 研修スケジュール

（土日休暇）

8/23（月）	8/24（火）	8/25（水）	8/26（木）	8/27（金）
ガイダンス 研究所見学	実験・データ整理			
8/30（月）	8/31（火）	9/1（水）	9/2（木）	9/3（金）
実験・データ整理・資料作成				成果発表

- ü 企業で化学工学の分野がどのように生かされているのか知りたい
- ü 企業における研究の規模感を掴みたい
- ü 大学との研究の進め方の違いを知りたい



インターンシップに参加

テーマ：ポリマーの混合・分散・乾燥特性の研究 小試並びに中試での実習

今回のインターンシップでは、ろ過工程の改善をメインに行った

前工程

ろ過工程

乾燥工程

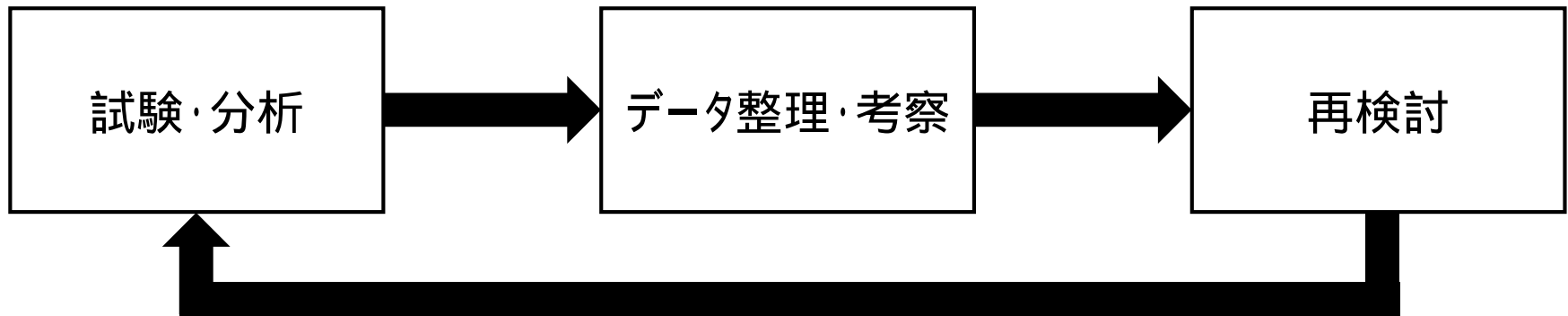
I 既存プロセスの課題点

- ろ過速度の安定性が低い点
- 定期的な清掃が必要となる点
- それに伴い、コストや時間がかかる点

新規ろ過装置の導入を検討

I 検討内容

- ü ろ過速度の安定性
- ü 形成されるケーキによる閉塞リスクの有無
- ü 製品規格を満たしているかの確認



- ｜ ろ過速度が安定していることを確認
- ｜ ろ過終了後、装置の外観およびケーキ濃度により閉塞リスクを判断
- ｜ 実機に導入することを考えながら試験・考察
- ｜ 試験に並行して、現場の安全確認

**実際にろ過プロセスの改良工程を体験することにより、
生産技術の仕事について理解が深まる**

Ⅰ 大学と企業の違い

- ・ 工場で量産することを前提としたプロセス検討
- ・ 効率化だけでなく、製品規格や安全面、期限も考慮

Ⅰ 化学工学分野について

- ・ 大学で学んだ化学工学の知識を活かす場面が多い

Ⅰ 安全に対する意識

- ・ リスクの洗い出し、防止策の検討、実行という一連の流れの徹底
- ・ ヒヤリの共有

Ⅰ コミュニケーションの重要性

- ・ 分からないことや確信が持てないことは早めに相互確認
- ・ 相互確認により、作業の効率化や事故対策を実現



- | 化学メーカーで働くとは？
- | 化学工学の分野はどのように生かされている？
- | 職場の雰囲気は？
- | 就職先はどのように決めればよいのだろうか？

実際の現場で研修することで、

- ü 化学メーカーでの働き方を明確にすることができる
- ü 生産技術職について学ぶことができる
- ü 化学工学の分野が企業でどのように生かされているか学ぶことができる
- ü 職場の環境や雰囲気を知ることができる
- ü 就職活動のモチベーション向上、方向性の決定につながる



インターンシップへの参加をお勧めします！

インターンシップという貴重な機会を設けてくださった

東亜合成株式会社 様
公益社団法人 化学工学会 様

ご多忙な中、丁寧にご指導くださりました

生産技術研究所の皆様

この場を借りて深く御礼申し上げます。
本当にありがとうございました。

静岡大学 橋本 裕太